

Global English と身近な個別言語の立体学習を

長谷川 由起子

1. 外国語＝英語か？

- ・国際コミュニケーションツールとしての英語の重要性は疑う余地もない
- ・しかし、異文化コミュニケーション能力を育てるのに英語だけで十分か？

Global English ⇒ 汎用性
個別言語 ⇒ 生活文化、習慣、情緒などと不可分 } 立体的学習が必要

- ・現状では早くて高校、大部分は大学で初経験
⇒ 子供の成長を考えると遅すぎる！ 大学の初修外国語の成果に疑問！



- ★小学校「外国語活動」に地域の特性に応じた「英語以外の外国語活動」を
- ★中学・高校に第二外国語としての「英語以外の外国語」を
(ただし、知識伝達型・受験対策型教育はダメ！)
- ★大学で能力別クラス編成が可能に ⇒ 適性のある人材の育成が可能に

2. 韓国語教育の可能性と課題

1) 可能性

- ・多くの文化的・言語的共通点の中に微妙な差異 ⇒ メタ認知促進
- ・直接接触の可能性が高い(ただし、地域差あり)
- ・ローコストで異文化体験が可能

} 日本人に最適

2) 課題

- ・言語教育研究分野の未熟さ = 外国語教育／学習メカニズムへの理解不十分
- ・韓国語教育関係者の関心事: 言語知識の伝達・言語形式の定着に留まる



- ★日本における他の外国語教育研究の成果を積極的に取り入れるべき
(言語を超えた相互協力)

(九州産業大学)